

1. 北条氏康 2. 朝倉義景 3. 大友宗麟 4. 今川義元

1. マルコ・ポーロが、陸路でアジアを訪れた帰路に発見した。
2. バスコ・ダ・ガマが、香辛料などの交易を目的として到達した。
3. フェルディナンド・マゼランが、世界一周航海の一環として立ち寄った。
4. クリストファー・コロンブスが、西回りでアジアを目指す途中に到達した。

1. 御成敗式目 2. 武家諸法度 3. 公事方御定書 4. 分国法

1. 幕府が発行した「朱印状」を携えた船が、東南アジアの諸港へ向かい、香料や絹織物などを取引する自由貿易を行った。
2. 明の皇帝から「日本国王」として認められた義満は、倭寇と正式な貿易船を区別するために「勘合」という札を用いる日明貿易を行った。
3. 博多湾を襲撃した元軍を退けた後、元の優れた文化を導入するために、北条氏が中心となって大陸との官民一体の貿易を推進した。
4. イエズス会の宣教師であるフランシスコ・ザビエルの布教を保護する条件として、ポルトガル船との間で南蛮貿易を開始した。

1. 藩 2. 領国 3. 莊園 4. 幕領

1. 分国法 2. 御成敗式目 3. 建武式目 4. 武家諸法度

1. キリスト教の布教を制限し、外国との貿易を大名が独占するため	2. 朝廷から与えられた官位の順序に従って、家臣の序列を整理するため	3. 家臣同士の争いを抑え、民衆を含めた領民全体を統制して領国を安定させるため	4. 室町幕府の命令を全国の農民に守らせ、将軍の権威を強めるため
----------------------------------	------------------------------------	---	----------------------------------

1. 生野銀山 2. 石見銀山 3. 足尾銅山 4. 佐渡金山

1. 地頭 2. 戦国大名 3. 守護大名 4. 御家人

1. ヨーロッパで宗教改革が起こり、カトリック教会が失った勢力を回復しようとしたため	2. ルネサンスの影響で科学技術が発達し、キリスト教以外の新しい宗教を広める必要があったため	3. プロテスタントの教えを世界中に広めることで、教皇の権威をさらに高めようとしたため	4. 十字軍の遠征が失敗したため、軍事力ではなく信仰によって聖地を奪還しようとしたため
--	--	---	---

1. 明治政府が近代的な国家を樹立するために、国民の権利と義務を定めた。
2. 江戸幕府が全国の大名を統制するために、城の修理を制限することなどを目的とした。
3. 鎌倉幕府が御家人同士の土地争いを公平に裁判するために、源頼朝以来の先例をまとめた。
4. 領国を独自に統治するため、家臣同士の喧嘩を両者とも処罰する規定などを盛り込んだ。

1. ローマ教皇の命令 2. 教会が定めた儀式 3. 聖書 4. 免罪符（贖宥状）

1. 農村での貨幣経済を禁止し、年貢をすべて銀で納めさせるため
2. キリスト教の布教活動を支えるための寄付金として活用するため
3. 朝廷から高い官位を得るための献上物として独占するため
4. 鉄砲や火薬などの軍需品を調達する資金や、家臣への恩賞とするため

1. 十字軍の遠征が成功したことで、キリスト教勢力がイスラム教勢力を圧倒し、アジア全域での布教が容易になっていた。
2. ヨーロッパで宗教改革が起こり、勢力を立て直そうとするカトリック教会が海外への布教を積極的に進めていた。
3. 宗教改革によって誕生したプロテスタントの諸国が、アジアにおける植民地支配を広めるために宣教師を派遣していた。
4. ルネサンスによる科学の発達により、日本の戦国大名から西洋の進んだ宗教や文化を導入したいという正式な要請があった。